

分類：臨床医学Ⅳ(CC1)

授業科目名：整形外科学／リハビリテーション科 臨床実習（Orthopedics・Rehabilitatin Medicine） - 整形外科・リハビリテーション科

対象学年：4年次必修

時間割コード：71643002-11

1. 主任教員

宮腰尚久（教授、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

2. 担当教員

宮腰尚久（教授、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

本郷道生（准教授、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

粕川雄司（講師、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

野坂光司（講師、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

永澤博幸（医学部講師、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

齊藤英知（助教、リハビリテーション科、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

木島泰明（助教、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

白幡毅士（助教、高度救命救急センター、オフィスアワー：9：00-17：00）

土江博幸（助教、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

1. 授業の概要及びねらい

医師として、整形外科関連疾患や外傷に適切に対応できるように、整形外科の基本的知識、態度、そして技能を身につける。授業では主として基本的知識を身につけることに主眼をおく。また、リハビリテーション医療の実際と種々のテクノロジーの学習を通して全人的アプローチを理解し、興味を深める。

【概要】

上記の目標を達成するために、以下の行動目標を達成するための授業を行う。

1. 主な関節や脊椎の診察、神経学的所見を適切にとり、それを理解できる。
2. 痛みや麻痺をもつ患者に対して、思いやりの気持ちを持った態度で接することができる。
3. 診察や検査の結果とその意義を理解し教官に正確に伝え、記録できる。
4. 主な関節疾患や外傷の病態や症状について説明でき、初期治療を選択できる。
5. 主な脊椎疾患や外傷の病態や病状、特に麻痺の程度を認識し、初期の対応を選択できる。
6. 四肢骨折の症状や合併症を説明でき、初期治療を選択できる。
7. 骨、関節疾患に関する基本的検査を選択し、その結果の意味を理解できる。
8. 代表的な整形外科疾患の手術療法の適応を理解できる。
9. リハビリテーションの基本的考え方を理解し、理学療法・作業療法・物理療法・装具治療の適応を理解できる。

2. 講義内容・具体的到達目標・学修目標

医師として患者に接するときの基本的診療技能を身に付ける。

【進め方】

1. 病棟実習

各自1～2例の症例検討をとおして上記の目標を達成する。

カルテ、X線写真、患者診察の上総括して発表し、その後担当教官の指導を受ける。

診断過程や手術適応について考察するが、その際、参考書の受け売りにならないよう、よく当該症例対比検討すること。

実習期間中に当該症例を指導医とともに診察を行うこと。必要に応じてそれを申し出ること。

2. 外来実習

診察の仕方やX線写真の読影の基本、リハビリ治療の実際などを実習する。指導医、療法士の患者への対応を観察し、接遇の仕方を学ぶ。

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

【整形外科】

TEXT 整形外科学第4版（南山堂） 標準整形外科学（医学書院） 新整形外科学・外傷学（文光堂） 整形外科 MOOK シリーズ（金原出版） 新図説臨床整形外科講座（メジカルビュー社） 図説整形外科診断治療講座（メジカルビュー社） 最新整形外科学体系（中山書店）

【リハビリテーション】

リハ実践テクニック骨・関節疾患の理学療法，島田洋一監修，メジカルビュー社
整形外科 術後理学療法プログラム，島田洋一・高橋仁美ノ編，メジカルビュー社
最新リハビリテーション医学，米本恭三監修，医歯薬出版
リハビリテーション～新しい生き方を創る医学～，上田 敏著，講談社ブルーバックス
図解理学療法技術ガイド，石川斉監修，文光堂
脊髄損傷・日常生活における自己管理のすすめ，徳弘昭博著，医学書院
呼吸リハビリテーション入門，千住秀明著，神陵文庫

5. 成績評価の方法

整形外科学・リハビリテーションの臨床実習に無断欠席した者、レポートを提出しない者は臨床実習を完了したことはない。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

【集合場所】

- ：1病棟8階カンファランスルーム
- *：整形外科外来
- ：北臨床棟2階整形外科医局図書室
- ：中央放射線部の4番の部屋
- ：リハビリ外来

1. 時間厳守

月曜日 朝8時00分:北臨床棟2階カンファランスルームに集合

木曜日 朝8時00分:1病棟8階カンファランスルームに集合

火・水・金曜日 朝8時30分:1病棟8階カンファランスルームに集合

症例検討の準備もそれまでに終了のこと。

2. 資料の取り扱い

病歴（カルテ）、X線写真、その他の患者に関する資料は、医師または看護師の許可を得てナースステーション（記録室）内で閲覧する。室外への持ち出しは厳禁とする。ただし、検討会の朝、X線写真だけは記録室の備え付けのノートに記入した上でカンファランスルームに持参する。

3. レポート

担当した症例のうち1症例につきレポート（所定のレポート用紙1枚にまとめること）を作成し、実習終了後2週までに整形外科医局（北臨床棟2階）に提出すること。

4. 臨床現場で働けるように服装に考慮すること。

整形外科学 / リハビリテーション科 臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
第 1 回 月曜日 [8:00-17:00] 副題 担当 宮腰・本郷・粕川・永澤・野坂	【朝 8 時 00 分 北臨床棟 2 階カンファレンスルームに集合】 リハビリテーション勉強会・抄読会 オリエンテーション 整形病棟回診 骨折の治療 リハビリ実習 総回診 抄読会
第 2 回 火曜日 [8:30-17:00] 副題 担当 本郷	【朝 8 時 30 分 1 病棟 8 階カンファレンスルームに集合】 骨・関節の X 線写真の読み方 病棟回診 外来 / 手術見学 手術見学 / 自習
第 3 回 水曜日 [8:30-17:00] 副題 担当 本郷・粕川	【朝 8 時 30 分 1 病棟 8 階カンファレンスルームに集合】 ミニチュートリアル 1 病棟回診 * 外傷の固定 症例発表の準備 脊椎検査
第 4 回 木曜日 [8:30-17:00] 副題 担当 齊藤	【朝 8 時 30 分 1 病棟 8 階カンファレンスルームに集合】 ミニチュートリアル 2 病棟回診 外来 / 手術見学 手術見学 / 自習 * MRI の見方
第 5 回 金曜日 [8:30-12:00] 副題 担当 木島	【朝 8 時 30 分 1 病棟 8 階カンファレンスルームに集合】 ミニチュートリアル 3 病棟回診 手術見学 / 自習
第 6 回 月曜日 [8:00-17:00] 副題 担当 永澤	【朝 8 時 00 分 北臨床棟 2 階カンファレンスルームに集合】 整形外科 Bone and Basic Research Conference 症例発表 病棟回診 外来実習 自習 総回診 抄読会・懇話会
第 7 回 火曜日 [8:30-17:00] 副題 担当 本郷	【朝 8 時 30 分 1 病棟 8 階カンファレンスルームに集合】 症例発表 病棟回診 外来 / 手術見学 手術見学 / 自習 リハビリ実習 O T
第 8 回 水曜日 [8:30-17:00] 副題 担当 本郷・粕川	【朝 8 時 30 分 1 病棟 8 階カンファレンスルームに集合】 症例発表 病棟回診 外来見学 縫合糸結び実習 * 脊椎実習 脊椎検査
第 9 回 木曜日 [8:30-17:00] 副題 担当 野坂	【朝 8 時 30 分 1 病棟 8 階カンファレンスルームに集合】 症例発表 病棟回診 / 手術見学 手術見学 リハビリ実習 P T

整形外科学 / リハビリテーション科 臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
第 10 回 金曜日 [8:30-12:00] 副題 担当 木島	【朝 8 時 30 分 1 病棟 8 階カンファレンスルームに集合】 BSL 評価 病棟回診 / 手術見学 手術見学 / 自習